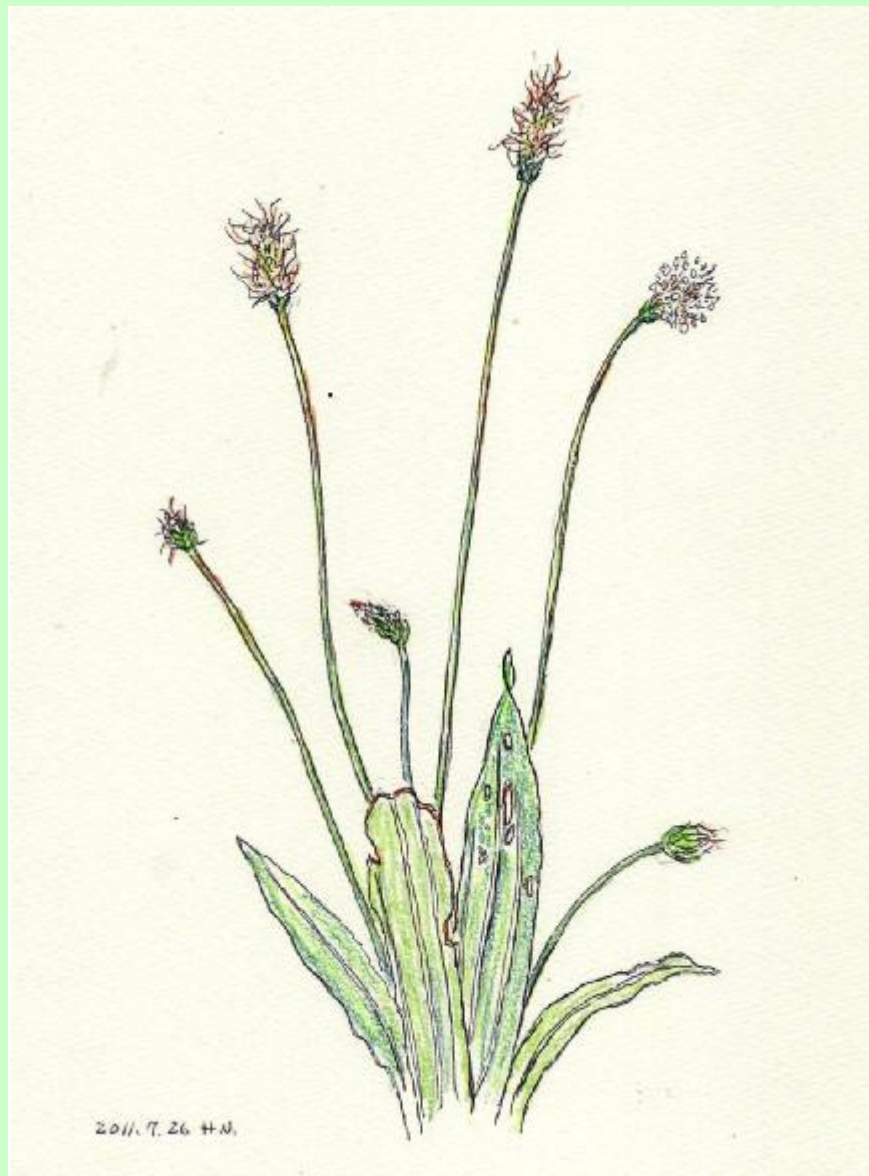


見ぬま田んぼ

野草スケッチ「ヘラオオバコ」 笹大葉子

分類：オオバコ科 オオバコ属

花言葉：感わさないで



東浦和南公園にて

公園の草むらの中に他の野草より高く突き出ているので、この草を見つけました。その後見慣れたせいか、道端や乾燥しているところでよく見かけるようになりました。普通のオオバコは地面にべったりと葉を広げていますが、この種は、逆に早は立ち上がり穂の茎はヒョロヒョロと数本伸びあがっています。穂の周りには糸に白いおしべがとりましています。



「ヘラオオバコ」

世界：	ヨーロッパ
生育地：	畑地、道端、果樹園、河川敷、牧草地、荒地などに耐乾地
茎 丈：	30 - 50 c m
葉	葉がへらのような形、長い毛がある
花期：	春から夏
花・花色：	穂には小さな花が密生、穂の周りに細い糸に支えられてつき、白い輪のように目立つのはおしべ
種子：果実	
特徴：	オオバコのような踏みつけ耐性はない。環境省指定の要注意外来生物類型 2 に指定
由来	葉がへらのような形なことに由来する
	写真と解説；Wikipedia からのサイトより
	22. 4. 6